

●施設の概要

施設名	岐阜ファミリーパーク	所管課	都市建設部 公園整備課
所在地	岐阜市北野北		
指定管理者名	財団法人岐阜市みどりのまち推進財団		
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	92,042,000円		
施設の設置目的	総合公園である岐阜ファミリーパークは、市民のみならず県外からも多くの方が訪れ散策やレクリエーション・スポーツ等を楽しむ場、また、岐阜市少年自然の家を中心に自然に親しみつつ学ぶ場として広く利用してもらうために設置。		
施設概要	スポーツレクリエーションゾーン:野球場(1面)、サッカー場兼ラグビー場(1面)、テニスコート(10面) センターゾーン:岐阜市少年自然の家、岐阜ファミリーパーク体育館など こどもゾーン:サイクルモノレール、スーパーモービル、ポプスレー、バッテリーカー、ボート、パターゴルフ、インラインスケート 他:来園者休憩所(無料)、管理事務所		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数(単位:人)		320,069				
各室稼働状況(人)	こどもゾーン	229,008				
	スポレクゾーン	47,070				
	ミワクル広場	43,991				

●業務の履行確認

区分	確認事項(運營業務について)	履行状況(実施内容、時期等)
利用者サービス	①公園全般の業務の実施	案内看板の設置及び園内放送の活用を図り、来園者へ情報の提供を行うと共にホームページのお知らせ欄を最大限活用した。 岐阜市との連絡を常に取り、アンケートの実施、ホームページでの意見聴衆を常時実施した。 イベント開催には少年自然の家、体育館の参加による協働体制を整え、三者会議を年間3回開催予定。 緊急時の対応は地域を管轄とする機関(警察、消防等)と連携し自然災害や防犯活動に努め、日常の管理報告は日報等で管理報告をした。
	②有料公園施設(供用日・時間の遵守、施設貸付、利用受付及び使用料収納業務)	施設供用日・時間は、仕様書どおり遵守した。 メンテナンス時期は事前に市と協議し緊急時はホームページ等のお知らせコーナーを活用した。 有料公園施設の貸付の利便性を高めるためにHPで岐阜市公共施設予約システムのページをリンクした。 使用料金の徴収には細心の注意を図り、常に事務所職員の手で行い安全確保のため複数人での対応を義務づけ使用券報告書を毎月提出した。 安全管理にはマニュアルを活用し防災訓練は年1回開催(下半期実施予定)、防犯器具の設置と安全パトロール車の運用を実施した。
	③ミワクル広場の維持管理	土日、祝日及び学校の長期休暇に合わせ、専属の安全指導員を常駐させ安全管理に努めた。
	④駐車場の維持管理	一部未舗装の駐車場について定期的な除草作業を行い、適切な管理を実施した。 摩耗老朽化による舗装駐車場のラインを一部引き直した(テニスコート北側)。
	⑤広報の方策について	イベント等市民への広報は岐阜市広報紙を活用し専門誌・フリーペーパー等の情報誌でイベント案内等を行った。 近隣住民がホームページを見ての来園するなど利用者が増加した。

区分	確認事項	履行状況		
		履行状況	実施月	備考
自主事業・ 提案事業	①こいのぼりまつり(5月5日こどもの日)実施	イベント 開催	5月5日	子どもゾーンに約15,000名の来場者があり、郷土の無形文化財の雨乞い踊りや猿回し劇場公演で中央ステージの観客席が満席になった。
	②市民ふれあいフェスティバル(11月4日開催予定、雨天順延)	イベント 開催予定	11月4日	少年自然の家、地域団体との連携により実施予定。
	③ファミリーフェア(平成25年3月20日開催予定)	イベント 開催予定	3月20日	少年自然の家、体育館、地域団体との連携により実施予定。
	④岐阜農林高校生徒栽培花苗の活用(5月18日実施)	関係団体 との連携	5月18日	岐阜市の花であるサルビアを2,000株花壇に活用した。
	⑤公園を拠点とした地域と連携した学習(三輪南地域 11月予定)	地域との 連携予定	11月 開催 予定	地域各種団体との連携により地元歩け歩け大会が予定されイベント拠点として活用。
	⑥スポーツ教室の開催(8月4日実施)	開催実施	8月4日	ちびっこラグビー教室の実施。地域の子どもやラグビーに興味のある親の勧めで32名の子どもがラグビーの楽しさを学んだ。
	⑦テニス、サッカー教室の開催予定(企画中)	実施予定	2、3月 予定	テニスを主体とした教室の開催や岐阜で唯一のプロチームとして活躍しているサッカーJ2のFC岐阜のイベントを企画中。
	⑧岐阜ファミリー倶楽部の運営	随時	イベ ント時	岐阜ファミリー倶楽部の運営に関しては毎月1～2名の入会者があり、現在87名の会員が登録されている。会員にはイベントの大会案内を実施した。
	⑨徳山の家の活用	開催予定	12月	古民家での生活用具や農機具の展示を行っている。その古民家で地元住民の指導により正月用のしめなわ飾りづくりを実施予定。
	⑩省エネ活動(ホームページで紹介)	実施	7月～ 9月	省エネや果実の収穫を兼ねた緑のカーテンを管理棟多目的ホール南側やポート乗り場待合所に設置した。7～8月には多くのゴーヤの実を来園者に提供できた(ホームページで紹介)。
	⑪池の浄化対策(協働研究)	実施	実施中	池の浄化も施設管理上重要な取り組みであり、規模や景観上からスボレクゾーン野球場前の観賞池を対象に実施した。水質調査を行い集中的な対処方法を考え、安全な方法での対策を実験研究中(協働研究)。
	⑫外来魚対策	予定	年度内	外来魚の生存が確認され、駆除対策の取り組み検討中。
	⑬ふれあい温室の設置	実施	7月完成	7月に完成した温室を利用して10月より花の種まきを実施し、将来的には当公園や地元での花が楽しめるように計画中。

施設管理	①建物、工作物、設備維持管理業務	実施	随時	安全な運用が第一であり、基本的な職員研修(主任会議・全員朝礼)などを通して、安全に対する意識の定着を実施した。施設維持管理は、業者依頼にて改修を随時実施。
	②保安警備業務	実施	随時	夜間休日の管理棟管理棟の警備は、警備会社による機械警備を実施し、異常発生時には、警備員による現地対応を行った。管理者へは緊急連絡網にて報告を受けるよう体制を整えた。
	③園内清掃業務 ④便所清掃業務	実施	随時	常時、職員がごみの収集に心がけ、定期的なごみ出し作業や清掃作業に取り組んでいる。常時2名が日常的な建物清掃と便所清掃を実施した。
	植物管理業務について			
	①芝生管理 ②除草、草刈	実施	随時	スポレクゾーンの芝生広場では、乗用芝刈り機を使用し大規模な管理し、年3回の作業を実施した(作業員は刈払機の講習を受講済み)。園路施設周辺における除草作業は、専属職員の配置を行い、常時実施した。
③樹木管理 ④花壇等管理	実施	随時	専門業者に業務委託を行うことにより、より適正な業務が遂行できるよう適切な業務管理を実施している。(花壇管理業務委託を実施中) 国体テニス会場としての施設管理として、コート防風樹木(カイズカ)の剪定や枯損木の撤去、低木の刈込を実施した。	
⑤動物飼育	実施	随時	スポレクゾーン野球場前の観賞池では、市民の心をいやす錦ごいやアヒルを飼育している。	
区分	確認事項(運営業務について)	履行状況(実施内容、時期等)		
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	老朽化のため修繕部品がなく対応できる部品の調達等専門業者との連携を取り来園者に楽しく遊んでいただくようメンテナンス等を実施した。緊急修繕等地元業者の把握に努め、迅速な修繕を行った。有料遊具についてはメーカーの部品調達困難なものもあり、長年経験を培った職員がノウハウを持ち併せており遅滞なく通常営業を行った。		
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護非常時の対応策について	安全で楽しい公園利用をしていただくため、利用者の声に耳を傾けサービス改善に努めた。 市の公園条例等規則を正しく運用し、適正に対応するよう努めた。 団体の規定に準じて、個人の人権プライバシーの保護には最大限の注意を払い、不審感を抱かれないように努めた。 非常時の対応は、執行責任者から理事長までの緊急連絡網を整備し、迅速な対応を実施した。		

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	こどもゾーン管理棟及びスポレクゾーン野球場、ミワクル広場にアンケート記載所を設け、常時来園者の意見が徴集できる体制が整えた。また、対面式による職員の聞き取り調査も実施した。
利用者アンケートの実施結果	<p>こどもゾーン275名 ミワクル広場68名 計343名の方のアンケートが回収した。 アンケートからは、こどもゾーンの来園者は県外の方が45%を占めており市外の方も35%あった。 市内の利用者は20%にとどまった。 家族での来園が殆どで、年に数回程度利用をいただいている方が多く、8月だけ初めての来園者がトップであった。 滞在時間は2～4時間が大半で全体の80%を占めた。 乗り物での人気は常にゴーカートが一番であり、スーパーモービル、ペダルボート、が2番3番を争った。 満足度では普通以上との回答が90%を超えており、きれいな公園であるとの意見も多かった。 ミワクル広場は、あまり知られていない傾向にあり、こどもゾーンでの設置場所のアンケート確認が多かった。 また、ホームページの認知度も低い60%の方が知らないと回答。 ミワクル広場では68名の方にアンケート用紙に記入頂いた。 利用者は市内と市外が約半数であり、近場での利用が多いことが伺えた。 大型複合遊具が近くになく人気があり、また来たいとの意見が多く回答されていた。</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>こどもゾーン 乗り場係員の言葉づかいが悪い。（主任会議及び毎週の朝礼にて接客教育を実施し対応） 授乳室の利用が多く増設してほしい。（次年度増設を検討中） 第3日曜日はこども無料の日使い方が荒っぽくなる。（使用規定を検討中） 木陰、水辺を増やしてほしい。（休日はパラソルを設置、夏場のヨシズ、緑のカーテンの増設については検討中）</p> <p>スポレクゾーン テニス、野球場大会開催日は路上駐車あり。（こどもゾーン駐車場利用を看板設置や園内放送で案内） テニスコートトイレ改善要望あり。（換気扇、照明灯など必要な改修を9月に実施）</p> <p>ミワクル広場 日陰、飲み物自販機の設置希望あり。（7月に既設休憩施設にヨシズ等設置） 幼児向け遊具で大きな子供が遊ぶ。（使用看板、監視員対応にて啓発）</p> <p>パーク全体 各ゾーンの移動手段を考えてほしい。（電動カート等の連絡車両の導入を検討中） 施設の老朽化が目立つ。（便益施設のトイレ等の故障が目立つので適時修繕を実施） 交通案内が増え、来るのに楽であった。（各交通要所に設置済み）</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	市民が平等に利用できるための基本的な考え方についての評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特性を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設(有料公園施設については除く)の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
		有料公園施設運営に対する考え方についての評価	○有料公園施設を利用者が快適に利用できるための方策を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	A	B	B
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	A	A	A
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	A	A	A		
区分評価			A			

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	「事業計画書の内容が管理経費の縮減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の縮減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を縮減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ(採用予定者も含む)の配置は適正なものとなっている	A	A	A
			有料公園施設の利用促進に対する評価	○有料公園施設の収入増加を図るための方策を実施している	B	C
		その他経費縮減について応募者の独自提案	○経費縮減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
	区分評価					B
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A
			○組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ(採用予定者を含む)の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	C	C	C
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A
			○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A
	緊急時における対応についての評価	○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A	
		○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A	
		○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A	
		○災害発生後の対応について、罹災状況の確認と早急な復旧をする態勢が整っている	A	A	A	
区分評価					B	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元へ貢献できる内容であるかの評価	○地元での社会活動を具体的に実施している	A	A	A
			○公園の特徴を理解し、地元への配慮等を実施している	A	A	A
			○地元の法人その他の団体の育成施策を実施している	A	A	A
			○地元の住民、高齢者、障害者等の雇用が確保されている	A	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>財団単独での指定管理を受託しており管理者組織の意思伝達は改善されている。さらに、経費的にも無駄な部分が削減されたと感じている。しかし、多業種での企業体を持つ知識に乏しく、現スタッフでの限界を感じざるを得ない。公益性を持つ財団による管理の良さのメリットは経費等に出ている。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>—</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>公園施設として長い年月が経過しているが、その良さも出てきている。特に景観的には充実した良さがあり、来園者の多くの方が美しい公園との感想を寄せている。しかし、有料施設更新がなく老朽化が随所に出ており、最悪の場合は利用停止あるいは早期に施設整理を視野に入れ、来園者の安全第一の管理を行うことを最重点に指定管理に努めていきたい。</p>

●所管課の意見

<p>財団法人岐阜市みどりのまち推進財団は、過年度から引き続き指定管理業務を行っており、職員の教育や研修、連絡体制等も整備され、また、予約システムについてや公園管理についても過年度の経験を活かして上半期の運営をした。岐阜ファミリーパークでは、テニスコートの利用状況やイベント状況を考慮した人員配置を行い、規定された営業時間を遵守して実施した。公園の維持管理(建物管理、施設修繕)に関しても実施した。公園管理についての外注も積極的に関与されたい。</p> <p>利用者評価に関しては、市民のアンケートの結果を生かし、今後も改善を図られたい。</p> <p>選定基準に基づく評価について「有料公園施設の利用促進に対する評価」は、具体的な方策を実施していない為「C」評価とした。「当該団体の業務遂行能力についての評価」については、定期点検の実施の遅れの為「C」評価とした。</p> <p>以上により、管理運営の状況は協定書の内容に基づき、概ね良好と認められるが、改善を必要とする場合は、その都度公園整備課から指定管理者に指導し、対応していく。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・遊具の定期点検を下半期適正に実施すること。</p> <p>岐阜ファミリーパークの指定管理について、概ね協定書、要求水準の内容どおり業務を履行していると認められる。要求水準どおり実施できていない項目、下半期予定している事業計画については適正な時期に実施すること。</p>
--